

1995 年 8 月 10 日第三種郵便物認可（毎週 1 回水曜日発行）

2022 年 7 月 19 日発行 SSKS 増刊通巻第 8531 号



つばさ なんばー
tsubasa No.164

ほうせいだいがく こうえんかい ようす
↓法政大学での講演会の様子



たませんたーでおこなわれた「ガーデンシティ
こども祭り」に出店しました！



だいがく こうえんかい ちいき まつ しゅってん
大学での講演会や地域のお祭り出店などたくさんの
ひと で あ つた
人と出会い、しょうがいしゃのことを伝えました！

じりつ すてーしょん おも
自立ステーションつばさは、どんなに重いしょうがいをもっている
ひと じりつ じつげん しえん すてーしょん
その人らしい自立が実現できるように支援するステーションです。

みせ お店のおこなう「しょうがいしゃへの合理的配慮」に
ごうりてきはいいよ
じょせいきんせい いど はじ
助成金制度が始まりました！

つばさのメンバーは、合理的配慮をすすめていくために、明石市や日野市などで

【多摩市役所が作成した助成金についての資料の一部抜粋】

しりょう
資料 4

じょせいきん
助成金が
はじ
始まります！！

てんぽ ぼりあふりーか しょう かた
店舗のバリアフリー化や、障がいのある方との
こみゅにけーしょんつーるさくせい
コミュニケーションツール作成に！

たまし じぎょうしゃ ごうりてきはいいよ ていきょうそくしん かか じょせいきん
【多摩市】事業者による合理的配慮の提供促進に係る助成金

「多摩市障がい者への差別をなくし共に安心して暮らすことのできるまちづくり条例」に基づき、
物販店舗、飲食店、サービス店舗などで障がいのある方へ必要な合理的配慮を提供するための
費用を助成します。

こうじ せこう
工事の施工

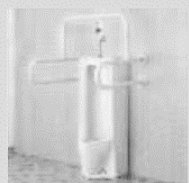
じょせいげんどがく
助成限度額 **30 万円**

ほじりつ
(補助率 **4/5**)
(例)



だんさかいしょうこうじ
段差解消工事

てすり せっちこうじ
手すり設置工事



とイレこうじ
トイレ工事

ぶつびん こうにゅう
物品の購入

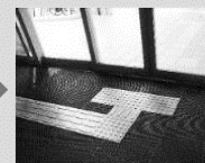
じょせいげんどがく
助成限度額 **10 万円**

ほじりつ
(補助率 **4/5**)
(例)



だんさかいしょう
段差解消
スロープ

ゆうどう まつと
誘導マット



たか かどうしき
高さ可動式
テーブル

こみゅにけーしょんつーる
コミュニケーションツールの
さくせい
作成

じょせいげんどがく
助成限度額 **3 万円**

ぜんがくほじよ
(全額補助)
(例)



こみゅに
けーしょん
ボード

てんじめ に ゆー
点字メニュー



ひつたん ぼーど
筆談ボード



ぼ し ゅ う き か ん
募 集 期 間

ず い じ ぼ し ゅ う ち ゅ う
随時募集中

※ 予算の都合上、予告なく終了する場合があります。

せいどりよう ながれ
制度利用の流れ

そうだん しんせい
相談・申請



こうにゅう こうじ
購入・工事



じっせきほうこく
実績報告



じょせいきんしはらい
助成金支払



まずはご相談を！

【お問合せ先】多摩市健康福祉部障害福祉課

電話 042-338-6847

ぱるてのん たまりに ゆーある おーぷん パルテノン多摩リニューアルオープン&

た ま し せ い し ゅ う ね ん い べ ん と 多摩市制50周年イベント

おーぶにんぐ かざ
～オープニングを飾ります！～

7月23日（土）、多摩市で「障がいのある人もない人も共に安心して暮らせる
まちへ」と題した、条例に関する講演会が行われます！

私たちつばさのメンバーも、オープニングで「多摩市権利擁護部会」有志とし
て、太鼓やダンスでイベントを盛り上げます！

市内の特別支援学校に通っている学生も参加してくれます。現在、本番に
向けて練習を頑張っているところです。皆様ぜひ見に来てください！

詳しい日時、申し込み方法などは、チラシをご覧ください！



ボランティア大募集！ イベント情報



7/23(土)
17:00～
19:00

多摩市50周年記念イベント 参加
「障がいのある人もない人も共に安心して
暮らせるまちへ」トークイベント

7/27(水)
13:30～
17:30

劇公演 星の王子さま を観に行こう！
「平和ってなに？」
(被爆者の方のお話、劇公演、エンターテインメントショー)

7/30(土)
11:00～
15:00

つばさ生活塾 講座ボランティア募集
「調理実習と健康講座」

夏ボラ
8月・9月

○昭和館に行こう(戦争体験・次世代の語り部のお話)
○ハンセン病資料館に行こう
○多摩市合同防災訓練に参加
○障がい者・児といっしょに太鼓・ダンスをしよう！



じりつすてーしょん
自立ステーションつばさは、
どんなに重いしょうがいがあっても
ちいさなひと じりつ
地域でその人らしい自立を
じっげん しえん だんたい
実現できるよう支援する団体です。

じりつすてーしょん
自立ステーションつばさ

<http://j-tubasa.com>

とうきょうとたまし まひきざわ れすと ごう
東京都多摩市馬引沢1-16-4 レスト96 102号
TEL:0423896491 MAIL:tsubasa@age.jp



こんかい
今回の
テーマは、

たの 楽しい食事 しょくじ

つばさ
せいふく
生活塾

講師は、
知的しょうがいをもって、
地域で一人暮らしをしている
ながおか
長岡しづきさん！



けんこう かんり 健康管理

じ りつ せい かつ うえ
自立生活をする上で、
じ ぶん からだ けん こう
自分の身体や健康を

じ ぶん まも
自分で守ることはとても

たい せつ
大切なこと。調理実習や、自立生活の
しょう かい
紹介をしますのでぜひご参加ください！



かいじょうさんか
会場参加
さんかん
参加費
しょくざい
(食料費) 500円

かいじょう さん か
会場で参加したい方

ずーむ さん か
Zoomで参加したい方

がつ にち
7月26日まで

もう こ
にお申し込みください

ない よう 内容

◎11:00～ 調理実習

お風呂ご飯を一緒に作ろう！

◎12:00～ 食事

お風呂ご飯食べながら交流しよう！

★健康クイズタイムあり！

◎13:00～14:00 頃ま 2

講師の長岡しづきさんの自宅から
自分の健康管理について紹介します！

メール
✉ tsubasa199404tbs@gmail.com

でんわ らっくす
☎ 042-389-6491 (つばさ事務所)



だい かい せい かつ じゅ く かい こう
【第3回 つばさ生活塾 開講！】

↓↓↓講師の長岡さんからのコメントです！↓↓↓

こうし
講師をやります
ながおか
長岡しづきです

からあげ
やきそば

チャーハン

おかし

ユカコーラをむかしはいっぱいのんでい
た。ふとったし、けっあゝあかゝた
たいじゅりをへらしてくたさいとゆわれた
おくりをもらっています

きをつけてることごはんをしっかりと

食べる おやつはたべすきだよ いろいろ
たべます。りよりりはたのしくってかっ
りけんめにりよりりをおいしくたべて
うまくなりましょ



オンラインつばさ生活塾を開催しました！

今年度からつばさでは、「オンラインつばさ生活塾」と題して、障がい者の自立生活を知っていただくための自立生活

プログラムをZOOMで開催しています。この企画の内容は、自立生活に必要な介護の制度や健康管理金銭管理などを

実践的に学べる内容となっています。つばさメンバーの母校の後輩など多くの方が参加

してくれました。第 2、3 回の参加者やつばさメンバーの感想を一部抜粋して載せます。



第 2 回 地域で生きるための人間関係について



藤吉さんと折笠さんは、障がい者同士のつながりについて話しました！



障がい者と介護者の関係性について話す金井さんと瀧澤さん

●介護者と仲良くなりたいと思いました。そのために、いろいろなイベントと一緒に参加して、お互いを

知れたら仲良くなれると思いました。(渡邊愛唯)

●仕事感覚ではない姿勢で、相手と長い時間を過ごせば、関係性の履歴が積みあがっていくと思います。その

過程で相手のことがよくわかるようになり、信頼関係や仲間意識が生じるはずです。今日の人たちの話を

聞いて、少しうらやましいと思いました。今の時代はふつうに生きていたら、他人と本気でぶつかったり、けん

かする機会がほとんどなくなりました。あってもそれで関係は切れてしまうことがほとんどです。一難あっても

続く関係性はとても強い絆があると思います。それは相手の尊厳を尊重しつつも、言い合える確固としたも

のだと思います。一緒じゃなければ生きていけないという現実性がある意味で関係の土台を支えていると

思います。(比護大晴)

●人間関係＝時にはぶつかり合い。交通事故って起こそうと思って起こす人は居ないと思うけど、「人間関係の構築」特に「健全者と障がい者が会おう」と言う事においては、そこは避けて通れない「交通事故」って必要なんじゃないかな？って思います。今考えるとそこを避けてたから最初の頃は「顔も合わせたくない」「聞こえてるけど返事をしたくない」って言う感じだったのかもしれませんが。「そのままにしない」「上手く伝えようとしなくても良いから少しずつでも良いから物事を他人に伝える」。「ぶつかり合い」＝「交通事故」なのかなって。でも、それだけが自立ではないので難しいところでもある。次にまたこう言う機会があれば続きという感じでも良いのかなと思います。（金井 誠）

●私とさおりさんがやりとりをやりました。自立するまえと自立したあとのこととか、ガイコクに行ったはなしや、富士山にのぼったはなしとか、たくさんはなしていく中で、おたがいにくろうしたけど、しょうがいしゃどうししかわからないこともいっぱいありました。けれどもしょうがいしゃとけんじょうしゃが、おたがいたすけあって、生きていくことがたいせつだと思いました。これからもじゅうどほうもんかいごをとりながら、自立生活をつづけていこうと思っています。（折笠 富子）

第 3 回 制度を学ぼう！「重度訪問介護」とは？



じりつせいかつ おく ふじよし じゅうどほうもんかいごせいど
自立生活を送っている 藤吉さおりさんが 重度訪問介護制度を
つか 使って、どのような生活をしているか 中継で見てもらいました。
また、これから自立を目指す方と、自立したらやりたいことや、かなえ
たい夢についても話しました！

●みまもりがたいせつなことがあった。さおりさんのおへやがきれいだった。やくるとのぶろせんしゅの
ぽすたーがあってやきゅうずきだなおもった。（長岡しづき）

●さおりさんの家の中まで見ることができて、生活の様子がよく分かりました！（田中 珠乃）

ひ で き ごと ある日の出来事,,

ほうかごかつどう 放課後活動まいうでつばさに^{かよ}通^きって来^{わたなべ あ い}ている渡辺愛唯さんが、なら^{なら}ごと^{ごと}を^{じぶん}自分^{さが}で探^{さが}し
て自分^{じぶん}で申し込^{もう}みができ^こて初^{しょ}回^{かい}の体^{たい}験^{けん}に参^{さん}加^かしたとき「しょうがいがあ^てって手^て伝^つい
が必要^{ひつ}な方^{よう}はうちでは無^む理^りです！」と差^さ別^{べつ}され断^{こと}ら^われてしまいました。

あ^あい^いさんがと^くも^や悔^{おも}しい想^いいをし^いたと言^いって^{おも}いたので、その想^{おも}いを紙^{かみ}にぶ^{かみ}つ^{かみ}けても
らい^{かみ}ました。

フラワーデザインの見学^{けんがく}について、学^{まな}ぶと^なだ^な..
と思^{おも}った見^{けん}学^{がく}が^おわ^わって、ローカ^{ろか}に^いお^いの^{ひと}人^{ひと}と
は^なし^た。そ^そで「^{よろ}い^{です}」とい^いわ^われた。と^もい^いや^だだ。
た。す^すご^ごく^くお^おか^かつ^つい^いた。自^{みづか}ら^いい^いお^おな^なみ^みで^いい^いた。
渡^{わた}辺^{なべ} あ^あい



わたなべ あ い ひだり
渡辺愛唯さん(左)と
せんばい ながおか みぎ
先輩の長岡しづきさん(右)

しょうがいしゃ さべつかいしょうほう せこう 障^{しょう}害^{がい}者^{しゃ}差^さ別^{べつ}解^{かい}消^{しょう}法^{ほう}が施^せ行^{こう}されて6年^{ねん}。多^た摩^ま市^しの差^さ別^{べつ}
かいしょうじょうれい せこう 解^{かい}消^{しょう}条^{じょう}例^{れい}が施^せ行^{こう}されて2年^{ねん}経^たち^ました。ま^まだ^まだ^ま浸^{しん}透^{とう}
して^いない^いん^んだ^だな^なと実^じ感^{かん}させ^させ^せら^られる^で出^で来^き事^{ごと}で^はし^た。法^{ほう}律^{りつ}
や条^{じょう}例^{れい}が知^しら^られ^りた^り、理^り解^{かい}さ^され^れた^たか^から^らと^とい^いっ^さて^さ差^さ別^{べつ}は、
な^なく^くな^なら^らない^いと^とおも^{おも}っ^わた^たし^し私^わた^たち^ちつ^つば^さは、差^さ別^{べつ}
さ^され^れた^たら^らこ^これ^れか^から^らも^も闘^{たた}っ^かて^いき^ます^す！

※^あい^いさん^{さん}は、別^{べつ}の^{なら}習^{ごと}い^{ごと}事^{こと}を^{なつやす}み^みつ^かけ^かて^か夏^{なつ}休^{やす}み^みか
は^はじ^じめ^める^るこ^こに^にな^なり^りま^ました^{した}。 ふじよし
藤^ふ吉^じさ^さお^おり

わかものしょうかい こーなー
若者紹介コーナー

あらやつばさ
～新谷翼～

かない じりつ いえ なに
金井：自立の家で何してる？

つばさ りょうり じゃーまんぽてと
翼：料理してる、ジャーマンポテト。

かない じゃーまんぽてと
金井：ジャーマンポテトだけ？

つばさ や
翼：たこ焼き。

かない や いがい
金井：たこ焼き以外は？

つばさ どん この や
翼：のっけ丼、お好み焼き。

かない こな す おおさかい
金井：粉もの好きだな～、大阪行ったらいいんじゃない

つばさ わら わら す
翼：(笑いながら)笑う好き！

かない おおさかい
金井：大阪行ったことある？

つばさ りょうこう い
翼：ある！旅行行く！

かない りょうこう い
金井：旅行どこか行ってみたいところある？

つばさ おおさかい この や つく や つく
翼：大阪行きたい、お好み焼き作る、やる、たこ焼き作る、やる。

かない おおさかい この や た
金井：大阪行ってお好み焼き食べたいの？

つばさ この や た
翼：お好み焼き食べる、おかわりする。

かない おおさかい こな おお つ い い ひとり い
金井：大阪は粉もの多いから落ち着いたら行ってみたらいいよ。行くのに一人で行ける？

つばさ い
翼：行ける。

かない まら そん とき ぼらん てい あ りょうこう とき
金井：ほんと？マラソンの時ボランティアさんいるじゃん、旅行の時いなくていいの？

つばさ ほう
翼：いた方がいい。

かない りょうこう い つぎ もくひょう
金井：じゃあ旅行行きたいってことで、次の目標だね。

ぼらん てい あ み ぜんかい まら そん はし まら そん ぼらん てい あ
ボランティアさん見つけたい？前はマラソン走りたいからマラソンのボランティアさんだけ

こんかい りょうこう ぼらん てい あ ぼしゅう
だったけど、今回は旅行もできるボランティアさんも募集したい？

つばさ
翼：したい。

かない ぼらん てい あ き
金井：どういうボランティアさんに来てもらいたい？

つばさ たの ひと やさ ひと
翼：楽しい人、優しい人。

かない さいご ひとこと
金井：最後に一言どうぞ。

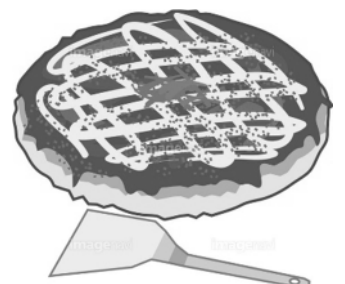
つばさ ねが
翼：よろしくお願いします。



ほんかくてき じりつ れんしゅう む けて ひび
本格的な自立の練習に向けて日々

がんば たら たら たら かない
頑張っている新谷翼さんに金井さんが

いんたびゅう しました！



かいごにんりれー 介護人リレー



むらたちなつ ひ ごたいせい
村田千夏→比護大晴

はじめまして。介護者の比護大晴です。23歳です。つばさに来て3年目になります。

今回はこの3年間で学んだことや考えたことを書きます。とくに、社会のありかたと差別との関係について紹介します。

いま、障害をもっている人にたいする世の中の対応は大きく4つに大別されます。

包摂（インクルーシブ）か排除かという軸と、同一の対応か別な対応かという軸の組み合わせでできる4種類です。専門的には、包摂的同一処遇、排除的異別処遇、包摂的異別処遇、排除的同一処遇といいます。簡単にいえば、包摂的同一処遇とは、みんなに平等な権利のことです。どんな人でも人権をもっていますよね。ところが、みんな平等であるはずの世の中には、残念ながらだれかをのけものにしたり差別したりして仲間外れにすることもあります。これが排除的異別処遇、みんながいう「差別」のことです。障害をもっている人はこれまで不当に人権を侵害されてきたし、今なおそうした事実があります。当然そこで、差別はいけないことだ、障害をもっているからという理由で仲間外れにする社会はおかしい、社会的に不利なひとにはその人に合った配慮が行われるべきだという考え方ができます。これが包摂的異別処遇、つまり最近の「合理的配慮」や「障害の社会モデル」といわれる考え方です。

逆に、配慮が全くないがゆえに、一見平等に見えても実は間接的に差別になっているケースが排除的同一処遇です。

大切なのは、同一の対応か別扱いかは重要ではないということです。その対応が包摂的か排除的かだけがポイントです。つまり別扱いが差別であるかどうかは、それが包摂的か排除的かで決まります。だから、包摂のために個別に配慮を行うこと、行われること、障害者がそれを必要とすること、は贅沢な要求でもなんでもありません。

しかし、何のためにそうした配慮が必要なのかがもっとも重要です。その意味で現行の日本の「合理的配慮」や「障害の社会モデル」は不十分です。「合理的配慮」の核に「社会モデル」の考え方があるわけですが、そもそも「社会モデル」の考え方はアメリカやイギリスに由来します。日本はそれを輸入したわけですが、何のために社会的障壁を無くすのかという議論に疎く、安直に輸入したので、それ以前の「医療モデル」から本質的な進歩がありません。医療モデルとは、就労のために身体的損傷を無くすという価値意識にもとづきます。アメリカやイギリスの社会モデルは、そうした働けるか働けないかで人間の価値が決まるような社会観を否定する文脈で登場しています。しかし、日本の社会モデルは就労のために社会的障壁を無くすという価値意識がベースです。働ける人はそれでいいかもしれませんが、働けない人は切り捨てられます。それでは障害者運動が否定されてきた優生思想や効率主義の考えに簡単にかからめとられます。社会モデルとは名ばかりです。本当は個人の幸福や自由のために社会的障壁がなくされるべきです。

そして、「社会モデル」の〈社会〉とは何か。その主体は何か。これも日本ではあ
いまいにしか示されないのて責任の所在が不明瞭です。名指しされれば、〈社会〉が
悪いと回避できてしまう。障害に関わる問題を周囲の人間との関係性という中間
項を経由せずに〈社会〉に帰属するから問題です。〈社会〉とは何か、だれを指すの
か、行政のことか。行政のことだけではないはず。障害に関わる問題、差別
は周りの人との関係性で決まります。周囲の人が聞く耳をもっているとき、そもそも
「障害」は問題化しません。ここでも障害に関係なく、まず包摂か排除かが大事で
す。なので、まず直接関わって知り合うということが大事です。

しかし、そうした関係性を世の中に全域化することはむずかしいという構造的な
問題をかかえます。私たちがいま、見知った人以上に見知らぬ人に囲まれながら
市民社会を生活しているからです。世の中の人の全員がマイノリティと呼ばれる人た
ちに直接かわかることは当然できません。だから全国どこにでも通用する制度や
法律、社会モデル等が必要です。しかし、ここにも問題をかかえます。障害者のた
めの制度ができて、適切な制度運用が行われないというように、結局はそれを
運用する人間が必ず問題になるからです。障害者運動の成果が行政側に継承さ
れていないかつ障害者の生活を知らないのて、当事者が要求したとおりの制度
運用が行われない例をここにきてから何度も見ました。

それでも、やらなければいけません。ということで、ぜひつばさの活動に参加して
みてください。

しょうがいしゃ



自分を語る



あなたのところへよんでください！

生い立ちをわかりやすく語ります！



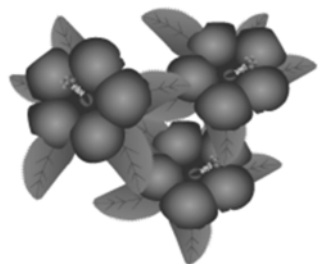
しょうがい当事者が生い立ちを語ります！子供の頃の話や、
家族との関係、施設生活、自立のきっかけ、現在の生活や抱い
ている夢などを、様々なエピソードを交えてお話しします。
ぜひあなたの学校、会社、団体へ、私たちをよんでください！

ご依頼はこちらまで

自立ステーションつばさ

TEL: 0423896491

MAIL: tsubasa@age.jp



寄付・賛助会員となっていたあなた方



ありがとうございました

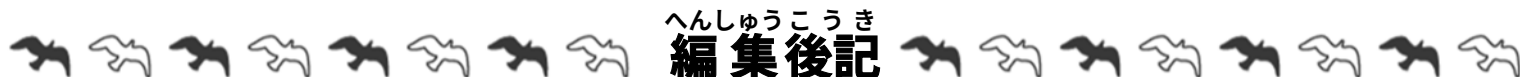
毎月皆様からいただいたカンパは自立の家の維持や活動に使わせて頂いております。つばさも設立から 28 年を迎え、少しずつではありますが、地域の皆様を知っていただける団体となりました。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

岩本美砂子様 大塚考司様 夫赶寛様 小川喜道様 佐藤真理子様 深田耕一郎様 友永好昭様

多摩・生活者ネットワーク様 松島玲子様 石渡和実様 伏見浩子様 大野まさき様 松元幹太様

佐藤絹子様 イコール様 水野只道様 平塚賢治様 藤原田鶴子様 (順不同)

他多数の方からご寄付頂きました。



編集後記

最近のつばさは市制 50 周年イベントに向けての練習に力を入れています。また、自立生活に必要なことを伝えるため毎月 1 回開催している【つばさ生活塾】。次回は【食事と健康管理】を開催予定です。感染拡大の状況を見ながらの動きにはなりますが、日々工夫しながらこれからも活動していきたいと思います。(金井)

編集・パソコン

藤吉さおり 金井誠 相澤誠 高野さくら

発行所

障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102

編集 自立ステーションつばさ 代表 藤吉 さおり

〒206-0023 多摩市馬引沢 1-16-4 レスト 96 102 号

TEL & FAX. 042-389-6491

E メール tsubasa@age.jp 頒価 100 円(会費に含む)